

2022年12月26日
東京電力ホールディングス株式会社

福島第二原子力発電所3号機 第2回定期事業者検査の延長について

福島第二原子力発電所3号機にて実施中の第2回定期事業者検査にて、検査項目「雑固体廃棄物焼却設備*機能検査（以下、「本検査」という。）」に関連する設備不具合が発生し、開始報告時の予定期間内に本検査が終了しないため検査工程の見直しを行った。

※発電所の作業において発生する使用済ゴム手袋、靴、およびヘルメット等の雑固体廃棄物を焼却する設備

1. 事象概要

本検査は雑固体廃棄物焼却設備において雑固体廃棄物の焼却が可能な状態であることを確認するものであるが、検査前準備中に、雑固体廃棄物を焼却炉へ投入できなくなる不具合が発生したため検査の延期を判断した。

その後の調査において、雑固体投入機ダンパの位置を検出する近接スイッチの不具合により雑固体投入機ダンパ閉位置状態にも関わらず開位置・閉位置両方動作することが原因と推定している。

以下に本日までの対応概要を示す。

・11月30日

本検査の検査準備のため焼却炉へ雑固体廃棄物を投入し、焼却炉内の温度上昇を行っていた際に「投入機渋滞」警報が発報。雑固体投入機ダンパの動作不良により、雑固体廃棄物を焼却炉へ投入できなくなった。この不具合箇所の確認には焼却炉を十分に冷却することが必要なことから同日中の検査は不可能と判断。

・12月5日～19日

焼却炉の冷却後に現場を確認したところ、不具合は認められず。また、メーカーとの要因分析により抽出された推定原因に対し現場調査を実施したが不具合は確認されず。

・12月19日

雑固体投入機ダンパおよび近接スイッチの動作確認において不具合は確認されず。

・12月20日～22日

雑固体廃棄物焼却設備を起動し再現性確認を実施したところ、雑固体投入機ダンパが閉位置状態で近接スイッチが開位置・閉位置両方動作する動作不良を確認。

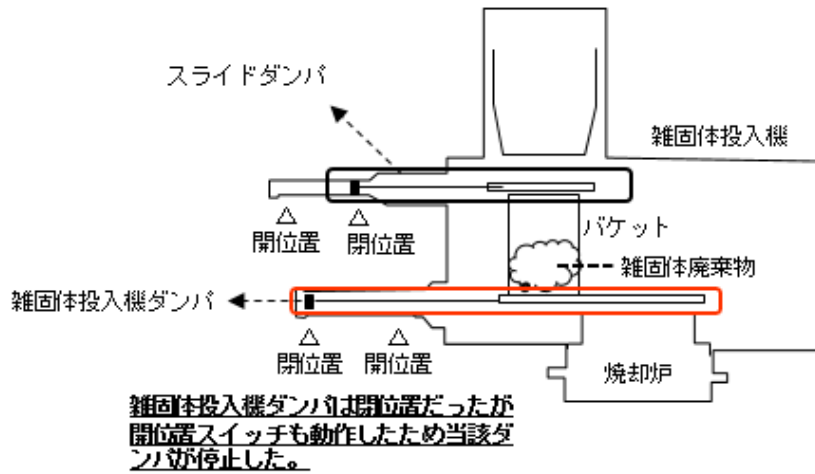


図1. 事象概要図

2. 今後の対応および工程変更計画について

動作不良が確認された近接スイッチについては2023年1月中旬に交換を行い、異常がないことを確認した上で、本検査を実施する。2023年1月下旬の検査完了を目標に準備を進めていく。

年月 項目	2022年					2023年
	8月	9月	10月	11月	12月	1月
当初計画	8/29			11/30		
変更計画	8/29					1月下旬

以上